

関東支部事業報告

～ 創立20周年に関する関東支部事業～

見学・講演会「群馬大学重粒子線照射施設」

平成21年8月22日(土)に関東支部地位向上部会の支所設立支援・地域地区連携の一環として、群馬大学に建設され、照射装置の試運転を開始した重粒子線照射施設の見学・講演会を開催いたしました。

同施設は縦横約45m×65m、高さ約20mの建築物で、その中に、重粒子(炭素イオン)を最高で光の70%程度の速度まで加速する直径約20mのシンクロトロン加速器と3治療室ならびに付帯設備を持ちます。従来の施設より大幅に小型化した世界初の施設です。

当日は、定員100名の募集に対して、107名の皆様にご参加いただきました。45分間の施設見学の後、「重粒子線照射とは」と題して、群馬大学の山田聡教授にご講演いただき、建物概要、設備についてそれぞれ群馬大学 施設運営部の湯澤瑞生様、小菅功様、田島勝秀様にご講演いただきました。

関東支部では会員の方々に見識を広めていただくため、講演会を開催し、各方面でご活躍の方々からのお話を聞く機会を設けていきます。

【開催概要】

主催 (社)建築設備技術者協会 関東支部

共催 (社)群馬県設備設計事務所協会

(社)群馬県建築士事務所協会

開催日 平成21年8月22日(土)

時間 14:00～14:45 施設見学

15:00～16:45 講演会

場所 群馬大学 医学部

参加人数 107名



写真提供: 群馬建設新聞

施設見学の様子

【プログラム】

14:00～14:45 重粒子線照射施設の見学

15:00～15:30 「重粒子線とは」 山田 聡 (群馬大学 重粒子線医学研究センター 教授)

15:30～16:00 同施設の建築概要 湯澤 瑞生 (群馬大学 施設運営部)

16:00～16:45 同施設の設備(機械・電気)の概要

小菅 功 (群馬大学 施設運営部)

田島 勝秀 (群馬大学 施設運営部)



写真提供: 群馬建設新聞

講演会の様子



写真提供: 群馬建設新聞

施設説明の様子